



TOKYO 2020

G U I D E B O O K

東京 2020大会 ガイドブック

みんなの輝き、つなげていこう。 Unity in Diversity

2020年、夏。
世界最大の祭典が再び東京にやってくる。

アスリートの輝きは世界中に広がり、
あらゆる人々をつなぎ、その瞬間、世界をひとつにする。

大会に参加したすべての人の輝きは、
かけがえのない財産となり、未来へつながっていく。

さあ、みんなの力で
オリンピック・パラリンピックを輝かせよう。

目次

1 大会概要	2	11 文化プログラム	20
2 オリンピック競技	4	12 聖火リレー	21
3 パラリンピック競技	6	13 東京2020大会を観る	22
4 会場計画	8	14 持続可能性	23
5 競技会場等	10	15 未来への継承	24
6 2回目のパラリンピック	14	16 レガシー・2020TDM推進プロジェクト・ 経済波及効果	25
7 復興オリンピック・パラリンピック	15		
8 みんなで創る東京2020	16		
9 ボランティア	18	■ コラム	26
10 東京2020参画プログラム	19	■ 東京2020大会マーケティングパートナー	28

1 大会概要

— 2020年、東京・日本は世界最高の舞台になる —

東京1964大会から半世紀を経て、東京・日本に再びオリンピック・パラリンピックがやってきます。東京2020大会では、世界中から数多くの選手や大会関係者、観客が東京・日本を訪れます。大会を通じて、日本中、世界中に興奮と感動を呼び起こし、「記録」と「記憶」が人々の心にいつまでも残るすばらしい大会としていきます。

大会スケジュール

正式名称 **第32回オリンピック競技大会(2020/東京)**

開催期間 **2020年7月24日(金)～8月9日(日)**

競技数 **33** 競技

正式名称 **東京2020パラリンピック競技大会**

開催期間 **2020年8月25日(火)～9月6日(日)**

競技数 **22** 競技

大会ビジョン

スポーツには 世界と未来を変える力がある。

1964年の東京大会は日本を大きく変えた。

2020年の東京大会は、

「すべての人が自己ベストを目指し(全員が自己ベスト)」、

「一人ひとりが互いを認め合い(多様性と調和)」、

「そして、未来につなげよう(未来への継承)」

を3つの基本コンセプトとし、史上最もイノベーティブで、世界にポジティブな改革をもたらす大会とする。

東京2020エンブレム



くみいちまつもん
組市松紋

- 「市松模様」を、日本の伝統色である藍色で、粋な日本らしさを描きました。
- 形の異なる3種類の四角形を組み合わせ、「多様性と調和」のメッセージを込めました。
- オリンピックエンブレム、パラリンピックエンブレムとも、同じ45ピースの四角形から構成されています。

東京2020マスコット

東京2020オリンピックマスコット

東京2020パラリンピックマスコット



ミライトワ
MIRAITOWA

ミライトワという名前は、「未来」と「永遠(とわ)」というふたつの言葉を結びつけて生まれました。名前に込められたのは、素晴らしい未来を永遠にという願い。東京2020大会を通じて、世界の人々の心に、希望に満ちた未来をいつまでも輝かせます。



ソメイティ
SOMEITY

ソメイティという名前は、桜を代表する「ソメイヨシノ」と非常に力強いという意味の「so mighty」から生まれました。桜の触角を持ち、驚きの強さを見せるソメイティ。東京2020大会を通じて、桜を愛でる日本の心とパラリンピックアスリートの素晴らしさを印象づけます。

世界最大のスポーツの祭典が東京にやってくる!

※東京2020大会の数字(一部予定)

参加アスリート数

11,090人
(オリンピック)

4,400人
(パラリンピック)



マスコット選定に
投票した小学校のクラス数
205,755クラス

授与される金メダルの数

339個
(オリンピック)

540個
(パラリンピック)



2 オリンピック競技

東京2020オリンピック競技大会では、33競技の開催が予定されています。本大会から、開催都市の組織委員会は、国際オリンピック委員会（IOC）に対し、その大会に限定した競技を追加実施する提案をすることができるようになりました。東京2020大会では、東京が提案した野球・ソフトボール、空手、スケートボード、スポーツクライミング、サーフィンの5競技全てがIOCに採択され、追加競技として実施することになりました。



水泳



アーチェリー



陸上競技



バドミントン



野球・ソフトボール



体操



ハンドボール



ホッケー



柔道



空手



近代五種



ボート



ラグビー



セーリング



射撃



スケートボード



スポーツクライミング



バスケットボール



ボクシング



カヌー



自転車競技



サーフィン



卓球



テコンドー



テニス



馬術



フェンシング



サッカー



ゴルフ



トライアスロン



バレーボール



ウエイトリフティング



レスリング

競技に関する詳細は、下記ホームページをご覧ください。

<https://tokyo2020.org/jp/games/sport/olympic/>



3 パラリンピック競技

東京2020パラリンピック競技大会では、22競技の開催が予定されています。本大会から、バドミントンとテコンドーが実施競技として、国際パラリンピック委員会 (IPC) に採用されました。



アーチェリー



パワーリフティング



ボート



射撃



陸上競技



バドミントン



ボッチャ



シッティングバレーボール



水泳



卓球



カヌー



自転車競技



馬術



テコンドー



トライアスロン



車いすバスケットボール



5人制サッカー



ゴールボール



柔道



車いすフェンシング



ウィルチェアラグビー



車いすテニス

競技に関する詳細は、下記ホームページをご覧ください。

<https://tokyo2020.org/jp/games/sport/paralympic/>



4 会場計画



会場計画コンセプト

Infinite Excitement

無限の可能性

東京2020大会の会場計画は、東京1964大会のレガシーを引き継ぐ「ヘリテッジゾーン」、都市の未来を象徴する「東京ベイゾーン」の2つのゾーンから構成されています。選手村を中心に広がる2つのゾーンは、無限大の記号をイメージさせます。東京2020大会を通じて、トップアスリートが灯した情熱と、次世代へつなげる可能性、そして語りつがれるレガシーが無限に広がっていくことを表しています。

■ オリンピック競技 ▲ パラリンピック競技

- 1 新国立競技場(オリンピックスタジアム)
■開会式・閉会式/陸上競技/サッカー ▲開会式・閉会式/陸上競技
- 2 東京体育館
■卓球 ▲卓球
- 3 国立代々木競技場
■ハンドボール ▲バドミントン/ウィルチェアーラグビー
- 4 日本武道館
■柔道/空手 ▲柔道
- 5 皇居外苑
■陸上競技(競歩)
- 6 東京国際フォーラム
■ウエイトリフティング ▲パワーリフティング
- 7 国技館
■ボクシング
- 8 馬事公苑
■馬術(馬場馬術、総合馬術、障害馬術) ▲馬術
- 9 武蔵野の森総合スポーツプラザ
■バドミントン/近代五種(フェンシング) ▲車いすバスケットボール

- 10 東京スタジアム
■サッカー/近代五種(水泳、フェンシング、馬術、レーザーラン)/ラグビー
- 11 武蔵野の森公園
■自転車競技(ロード)
- 12 有明アリーナ
■バレーボール(バレーボール) ▲車いすバスケットボール
- 13 有明体操競技場
■体操 ▲ポッチャ
- 14 有明BMXコース
■自転車競技(BMXフリースタイル、BMXレーシング)/スケートボード
- 15 有明テニスの森
■テニス ▲車いすテニス
- 16 お台場海浜公園
■水泳(マラソンスイミング)/トライアスロン ▲トライアスロン
- 17 潮風公園
■バレーボール(ビーチバレーボール)
- 18 青海アーバンスポーツ会場
■バスケットボール(3x3)/スポーツクライミング ▲5人制サッカー
- 19 大井ホッケー競技場
■ホッケー
- 20 海の森クロスカントリーコース
■馬術(総合馬術)
- 21 海の森水上競技場
■カヌー(スプリント)/ボート ▲カヌー/ボート

- 22 カヌー・スラローム会場
■カヌー(スラローム)
- 23 アーチェリー会場(夢の島公園)
■アーチェリー ▲アーチェリー
- 24 オリンピックアクアティクスセンター
■水泳(競泳、飛込、アーティスティックスイミング) ▲水泳
- 25 東京辰巳国際水泳場
■水泳(水球)
- 26 幕張メッセ Aホール
■テコンドー/レスリング ▲シットイングバレーボール
- 27 幕張メッセ Bホール
■フェンシング ▲テコンドー/車いすフェンシング
- 28 幕張メッセ Cホール
■ゴールボール
- 29 釣ヶ崎海岸サーフィン会場
■サーフィン
- 30 さいたまスーパーアリーナ
■バスケットボール(バスケットボール)
- 31 陸上自衛隊朝霞訓練場
■射撃 ▲射撃
- 32 霞ヶ関カンツリー倶楽部
■ゴルフ
- 33 江の島ヨットハーバー
■セーリング
- 34 伊豆ベロドローム
■自転車競技(トラック) ▲自転車競技(トラック)

- 35 伊豆マウンテンバイクコース
■自転車競技(マウンテンバイク)
- 36 富士スピードウェイ
■自転車競技(ロード) ▲自転車競技(ロード)
- 37 福島あづま球場
■野球・ソフトボール
- 38 横浜スタジアム
■野球・ソフトボール
- 39 札幌ドーム
■サッカー
- 40 宮城スタジアム
■サッカー
- 41 茨城カシマスタジアム
■サッカー
- 42 埼玉スタジアム2002
■サッカー
- 43 横浜国際総合競技場
■サッカー

OV/PV 選手村
IBC/MPC IBC/MPC(東京ビッグサイト)

(本冊子記載の情報は2018年9月現在のものです)

5 競技会場等

東京2020大会は、新規施設の他、東京1964大会のレガシー施設を含む多くの既存施設なども活用して、都内外の43会場で開催します。

- オリンピック競技
- ▲ パラリンピック競技



1 新国立競技場 (オリンピックスタジアム)
 ■開会式・閉会式／陸上競技／サッカー
 ▲開会式・閉会式／陸上競技

東京1964大会のオリンピックスタジアムであった国立競技場が、2020年までに新しい競技場に生まれ変わります。東京2020大会では、開会式・閉会式のほか、陸上競技やサッカーが行われます。大会後は各種スポーツ・文化関連イベントに使用される予定です。

大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所 JV 作成 / JSC 提供
 注) パース等は完成予想イメージであり、実際のものとは異なる場合があります。植栽は完成後、約10年の姿を想定しております。



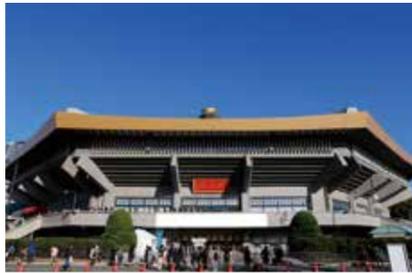
2 東京体育館
 ■卓球
 ▲卓球

東京1964大会時に、メインアリーナで体操競技、屋内プールで水球が開催されました。1964年のオリンピックレガシーを有する施設のひとつです。



3 国立代代木競技場
 ■ハンドボール
 ▲バドミントン／ウィルチェアーラグビー

東京1964大会時に水泳とバスケットボールの競技会場として使用するため、整備された施設です。高張力による吊り屋根に特徴がある建物で、現在でもオリンピックレガシーとして世界的に高い評価を受けています。



4 日本武道館
 ■柔道／空手
 ▲柔道

柔道をはじめとする日本の武道の聖地です。東京1964大会では、柔道がオリンピック競技として初めて実施され、この施設で開催されました。



5 皇居外苑
 ■陸上競技 (競歩)

黒松の点在する大芝生広場と江戸城のたたずまいを残す濠、城門などの歴史的建造物とが調和し、日本を代表する公園として親しまれています。



6 東京国際フォーラム
 ■ウエイトリフティング
 ▲パワーリフティング

巨大な舟形のアトリウム空間を持つガラス棟がシンボリックな建物です。総合的な文化情報発信拠点として、大小8つのホールなどを備えています。



7 国技館
 ■ボクシング

日本の国技である相撲の聖地です。館内がすり鉢状になっており、観客は四方から中央で行われる競技を観戦することができます。



8 馬事公苑
 ■馬術 (馬場馬術、総合馬術、障害馬術)
 ▲馬術

東京1964大会時に馬術が行われた場所です。1964年のオリンピックレガシーを有する施設のひとつです。現在は、馬事普及拠点になっています。



9 武蔵野の森総合スポーツプラザ
 ■バドミントン／近代五種 (フェンシング)
 ▲車いすバスケットボール

東京スタジアムに隣接する場所に新しく整備された施設です。10,000人以上収容可能なメインアリーナなどを有する総合スポーツかつ多目的施設です。



12 有明アリーナ
 ■バレーボール (バレーボール)
 ▲車いすバスケットボール

有明北地区に新しく整備されるアリーナです。大会後は、15,000席の規模を活かし、東京の新たなスポーツ・文化発信拠点としていきます。

2015年10月時点のイメージ図



15 有明テニスの森
 ■テニス
 ▲車いすテニス

このエリアは、日本のテニスの聖地とされています。緑に囲まれた敷地に屋外48面のテニスコートと「有明コロシアム」を備えています。



18 青海アーバンスポーツ会場
 ■バスケットボール (3x3) / スポーツクライミング
 ▲5人制サッカー

選手村からも近い青海エリアの敷地に、仮設で整備される会場です。東京湾が見える場所に位置し、世界中の若者をエンゲージする東京2020大会を象徴する会場のひとつです。



10 東京スタジアム
 ■サッカー／近代五種 (水泳、フェンシング、馬術、レーザージョーロ) / ラグビー

サッカーをはじめ、多彩なイベントに利用されている多目的スタジアムです。



13 有明体操競技場
 ■体操
 ▲ボッチャ

有明北地区に仮設で整備される会場です。大会時には、約12,000人の客席数を有する競技場が建設される予定です。

2017年11月時点のイメージ図



16 お台場海浜公園
 ■水泳 (マラソンスイミング) / トライアスロン
 ▲トライアスロン

海や緑の自然と、レインボーブリッジなどの未来的景観が融合した観光スポットである台場地区にある公園です。大会時には、仮設で競技会場が整備されます。



19 大井ホッケー競技場
 ■ホッケー

大井ふ頭中央海浜公園に整備される施設です。大会後は、ホッケーをはじめ様々なスポーツを楽しめる多目的球場としていきます。

2016年6月時点のイメージ図



11 武蔵野の森公園
 ■自転車競技 (ロード)

大会時には自転車競技 (ロード) のスタート地点として仮設施設が整備されます。公園の周囲には武蔵野の森が広がり、森の緑を背景として美しい景観が楽しめます。



14 有明 BMX コース
 ■自転車競技 (BMX フリースタイル、BMX レーシング) / スケートボード

選手村やIBC/MPC (東京ビッグサイト) から近いウォーターフロントエリアの有明北地区に計画されています。アーバンスポーツの中心となる会場のひとつです。



17 潮風公園
 ■バレーボール (ビーチバレーボール)

ウォーターフロントの象徴であるレインボーブリッジを背景に、東京湾の美しい景色を眺めることができる公園です。大会時には仮設で競技会場が整備されます。



20 海の森クロスカントリーコース
 ■馬術 (総合馬術)

東京湾のすばらしい眺めとドラマチックな都市景観を一度に楽しむことができる埋立地です。大会時には、馬術のクロスカントリーコースが仮設で整備されます。



2017年12月時点の大会時イメージ図

21 海の森水陸競技場

- カヌー(スプリント)/ボート
- ▲カヌー/ボート

都心に近い東京の臨海部に新しく整備される施設です。大会後は、アジアの水陸競技の中心となる国際水準の競技場としていきます。



2016年5月時点のイメージ図

22 カヌー・スラローム会場

- カヌー(スラローム)

葛西臨海公園の隣接地に新しく整備される国内初の人工コースの施設です。大会後は、様々な水上スポーツ・レジャーを楽しむ施設としていきます。



2017年11月時点大会後イメージ図

23 アーチェリー会場(夢の島公園)

- アーチェリー
- ▲アーチェリー

夢の島公園内にアーチェリー会場を整備します。大会後は、アーチェリーを中心に、多様な活用を提供する施設としていきます。



©日本サイクルスポーツセンター

35 伊豆マウンテンバイクコース

- 自転車競技(マウンテンバイク)

全長2,500m、高低差が85mあるオフロードコースです。静岡県伊豆市にあります。



36 富士スピードウェイ

- 自転車競技(ロード)
- ▲自転車競技(ロード)

首都圏に最も近い国際サーキットです。場内には、最新の国際レーシングコースに加え、レース関係者や報道関係者などが利用する施設についても最新の設備が導入されており、大規模な国際大会の運営に対応しています。



37 福島あづま球場

- 野球・ソフトボール

「スポーツを楽しむ」「自然と憩い」「家族で楽しむ」「歴史散策」の4つのエリアを有する総合運動公園内にある野球場です。東京2020大会追加競技が行われます。福島県福島市にあります。



2017年11月時点の大会時イメージ図

24 オリンピックアクアティクスセンター

- 水泳(競泳、飛込、アーティスティックスイミング)
- ▲水泳

辰巳の森浜公園に新しく整備される施設です。大会後は、日本水泳の中心となる世界最高水準の水泳場としていきます。



25 東京辰巳国際水泳場

- 水泳(水球)

東京都における水泳の中心的・象徴的施設としての役割を担う広域的な専門施設として設置されました。



26 27 28 幕張メッセ

- テコンドー/レスリング/フェンシング
- ▲シットイングバレーボール/テコンドー/車いすフェンシング/ゴールボール

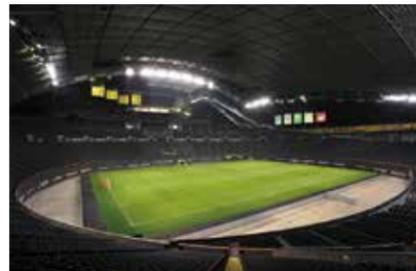
210,000㎡の敷地に「国際展示場」「国際会議場」「幕張イベントホール」の3施設で構成される複合コンベンション施設です。千葉県千葉市にあります。



38 横浜スタジアム

- 野球・ソフトボール

横浜公園内にある日本初の多目的スタジアムです。日本のプロ野球チームの本拠地にもなっています。東京2020大会追加競技が行われます。神奈川県横浜市にあります。



39 札幌ドーム

- サッカー

サッカーと野球のプロチーム2つの本拠地にもなっている施設です。日本最北にある全天候型ドームスタジアムです。北海道札幌市にあります。



40 宮城スタジアム

- サッカー

スタジアムの観客席を覆う大屋根は、仙台藩主「伊達政宗公」の兜飾りの三日月をデザインしています。陸上競技場兼サッカー球技場です。宮城県宮城郡利府町にあります。



29 釣ヶ崎海岸サーフィン会場

- サーフィン

「世界最高レベル」ともいわれる良質な波を求めて多くのサーファーが訪れる海岸です。東京2020大会追加競技が行われます。千葉県長生郡一宮町にあります。



30 さいたまスーパーアリーナ

- バスケットボール(バスケットボール)

スポーツイベント、コンサート、講演会などさまざまな用途に対応した国内最大級の多目的ホールです。埼玉県さいたま市にあります。



31 陸上自衛隊朝霞訓練場

- 射撃
- ▲射撃

東京1964大会時にも、この訓練場でライフル射撃競技が行われました。大会時には、オリンピック基準に適合した射撃の仮設施設が整備されます。



41 茨城カシマスタジアム

- サッカー

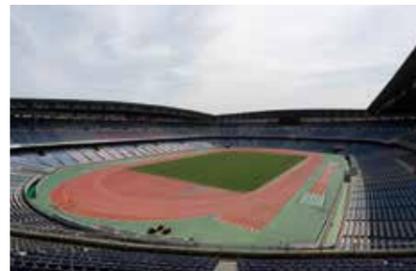
本格的なサッカー専用スタジアムで、常緑の天然芝フィールドとスタンドのどこからでも観戦しやすい観客席を有しています。プロサッカーチームの本拠地にもなっています。茨城県鹿嶋市にあります。



42 埼玉スタジアム2002

- サッカー

アジア最大級・日本で最大のサッカー専用スタジアムです。埼玉県さいたま市にあります。



43 横浜国際総合競技場

- サッカー

日本最大規模の72,327席の観客収容能力を誇る屋外多目的競技場です。神奈川県横浜市にあります。



32 霞ヶ関カントリー倶楽部

- ゴルフ

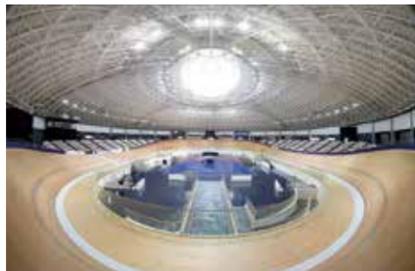
緑豊かな武蔵野丘陵に広がるゴルフ場です。ゴルフ伝承の一端を担う設計者により設計された、80年以上の歴史を誇る施設です。埼玉県川越市にあります。



33 江の島ヨットハーバー

- セーリング

東京1964大会時に使用するため、整備された日本初の競技用ハーバーです。1964年のオリンピックレガシーを有する施設のひとつです。神奈川県藤沢市にあります。



34 伊豆ベロドローム

- 自転車競技(トラック)
- ▲自転車競技(トラック)

国際自転車競技連合(UCI)規格の周長250m木製走路を有する屋内型自転車トラック競技施設です。静岡県伊豆市にあります。



IBC/MPC(東京ビッグサイト)

約265,700㎡の敷地に、展示ホール、国際会議場、レセプションホールなどを備える日本最大のコンベンション施設です。大会時には、報道・放送センターになります。

選手村

東京都中央区晴海に位置する選手村は、44ヘクタールの敷地に整備され、宿泊棟は、オリンピック開催時に18,000ベッド、パラリンピック開催時に8,000ベッドを確保する計画となっています。大会終了後、大会中に一時使用した宿泊棟は改修し、新たに建築する高層棟とともに、分譲等を行う予定となっています。

2020年の晴海五丁目地区(選手村周辺のイメージ) ※2020年時点での仮構図のみ描画

6 2回目のパラリンピック

東京は、世界で初めて2回目の夏季パラリンピックを開催する都市であり、東京2020大会は、ダイバーシティ実現の大きな契機となる大会です。障がいの有無に関わらず世界中からあらゆる人が集い、そして障がいのある選手たちの圧倒的なパフォーマンスを直に目にすることができるパラリンピックは、すべての人がお互いの人権や尊厳を大切に、支え合う共生社会の実現にむけて、社会のあり方を大きく変える力があります。

1964

「パラリンピック」という名称は、「オリンピック開催年にオリンピック開催国で行われる国際ストーク・マンデビル大会」=「Paraplegia (対まひ者)」の「Olympic」=「Paralympic」という発想から、東京1964大会の際に日本で名付けられた愛称でした。東京1964大会は、我が国の障がいのある方々の社会参加や自立を促す契機となりました。

提供: JPC



提供: JBFA

東京2020大会では、パラリンピックを成功させるとともに、都市のバリアフリー化や心のバリアフリーの浸透など、ハード・ソフト両面での取組を進め、障がいの有無に関わらず、誰もが生き生きと暮らせる都市を作り上げていきます。

2020

「NO LIMITS CHALLENGE」 ノーリミッツチャレンジ — パラリンピックの魅力を感じよう —

パラリンピック競技の体験を中心としたイベントです。

「失われたものを数えるな、残された機能を最大限に活かせ」という「パラアスリートの無限の可能性の追求」を表現する「NO LIMITS」。

参加型イベントであることを想起させる「CHALLENGE」。この2つの言葉に由来しています。

パラリンピック競技を体験し、その魅力に触れてみよう!



迫力のパラリンピック競技を街中で披露



障がいの有無に関係なくみんなで楽しめます

詳しくはこちら
<http://no-limits.tokyo/>



— 東京都の取組 — 「TEAM BEYOND」 チームビヨンド

パラスポーツを応援する人を増やすため、東京都が2016年度から展開しているプロジェクトです。
あなたもメンバーになって、一緒にパラスポーツを盛り上げましょう!



みんなで親に行こう、
パラスポーツ。

詳しくはこちら
<https://www.para-sports.tokyo/>



7 復興オリンピック・パラリンピック

2011年に始まった東京2020大会の招致活動では、スポーツの力が東日本大震災の被災地に夢と希望をもたらすことを訴えました。また、東京2020大会の開催決定後、熊本県等を大地震が襲い、甚大な被害をもたらされました。復興オリンピック・パラリンピックは東京2020大会の原点です。スポーツの力で被災地に元気と感動を届けます。そして、様々な困難を乗り越え、復興へと歩む被災地の姿を世界に発信し、支援していただいた人々に感謝を伝えていきます。

東京2020大会では、被災地でのサッカーと野球・ソフトボールの開催、ライブサイト、文化プログラムなどが予定されています。是非、被災地に足を運んでください。

聖火リレー 復興の火 文化プログラム

野球・ソフトボール: 福島あづま球場

オリンピック競技の開催

サッカー: 宮城スタジアム

ライブサイト 事前キャンプ

スポーツを通じて元気を取り戻しつつある被災地の姿を取めた映像をご覧ください。

「2020年。東京と東北で会いましょう。」
<https://www.2020games.metro.tokyo.jp/taikaijunbi/kanren/hisaiti/>

「2020年。東京と熊本で会いましょう。」
https://www.2020games.metro.tokyo.jp/taikaijunbi/kanren/hisaiti_kumamoto/



スポーツの力で被災地を元気に

「未来(あした)への道 1000km 縦断リレー」

全国と被災地との絆を深めるため、青森から東京まで、東日本大震災の被災地をランニングと自転車をつなぐリレーを開催しています。



「若手アスリート参画プロジェクト」

地域の児童や保護者とのスポーツ交流等による被災地復興支援を目的に、若手アスリートとともに被災地で様々な活動を行っています。



福島県や熊本県を訪問し、小学校の運動会への参加やイベントなどを実施しています

8 みんなで創る東京2020

2020年に向けて、東京2020大会を身近に感じることができる多彩なイベントが行われます。みんなで参加し、一体感のある楽しい大会を、一緒に創り上げていきましょう。



2013.9.7
東京2020大会開催決定!

©Getty Images
IOCロゴ会長(当時)による発表

2016.8-9
リオ2016大会 フラッグハンドオーバー

リオ2016大会閉会式で、次回開催都市である東京都が、オリンピックフラッグ・パラリンピックフラッグを引き継ぎました。

オリンピックフラッグ パラリンピックフラッグ

2016

都市鉱山からつくる! [▶ 詳細はP23へ](#)
みんなのメダルプロジェクト

本プロジェクト発表記者会見

2017

東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー

オリンピックフラッグ・パラリンピックフラッグは、都内、被災地を経て、2017年から全国を巡回しています。

フラッグツアー(小笠原村)

フラッグツアー(福島県)

カウントダウンイベント

2020年開幕までの節目ごとに、カウントダウンのイベントを実施します。

オリンピック2年前イベントには東京2020マスコットも登場

パラリンピック1000日前を祝して、東京スカイツリー®をライトアップ

2018

2019

東京2020 マスコット [▶ 詳細はP3へ](#)

大会史上初となる小学生の投票で決まった東京2020マスコット。投票には、海外の日本人学校等を含め16,769の小学校に参加いただきました。

東京2020マスコット発表会

東京2020マスコットデビューイベント

テストイベント

大会前には本大会で使用予定の競技会場を使って、可能な限り本大会に近い状態でテストイベントが開催されます。

テストイベントは2018年9月~2020年5月までの間に開催される予定です。

ライブサイト

ライブサイト会場では、大型スクリーンを使用した競技中継、ステージイベント、競技体験等を実施します。競技チケットを持っていない方も、ライブサイト会場にて、大会の臨場感や会場の一体感を味わうことができます。リオ2016大会や平昌2018大会期間中においても、都内及び被災地でライブサイトを実施しました。東京2020大会でも、大会の感動を分かち合える場として、ライブサイトを実施します。

大迫力のビジョンと多彩な催しが楽しめるステージ

大会実施競技の体験コーナー

東京2020 NIPPON フェスティバル [▶ 詳細はP20へ](#)

大会直前から、東京2020参画プログラムの集大成として、様々な団体と連携し、文化オリンピアードを中心とした祝祭感あふれるプログラムを全国各地にて展開することで、大会本番に向けた最高潮の盛り上がりを作り出します。

聖火リレー [▶ 詳細はP21へ](#)

オリンピック聖火は2020年3月26日に福島県を出発し、以降全国を回り、喜びや情熱を伝えていきます。

開会式・閉会式 [▶ 詳細はP22へ](#)

東京・日本を世界へアピールする世界最大規模のセレモニーに向けて、準備を進めています。

9 ボランティア

— みんなで大会を支えよう —

世界中の国・地域から選手や大会関係者が参加するほか、多数の観客が日本を訪れる東京2020大会の成功には、ボランティアの存在が欠かせません。また、ボランティア活動への参加を通じて、多くの人と一丸となって大会を創り上げるといふ、他では決して得られない感動を体験することができます。

東京2020大会では、大会ボランティアと都市ボランティアを合わせて、11万人以上の活躍を想定しています。

大会ボランティア

主に大会開催前後及び期間中、競技会場や選手村などの大会関係施設で、選手や大会関係者、観客等に対する、会場内での案内・誘導など、大会運営をサポートする役割を果たします。また、大会の雰囲気づくりの一翼を担います。

活動分野

1. 指定なし
(どんな活動でもいいのでボランティアとして参加したい)
2. 案内
3. 競技
4. 移動サポート(運転等)
5. アテンド
6. 運営サポート
7. ヘルスケア
8. テクノロジー
9. メディア
10. 式典

運営・募集 **東京2020組織委員会**
 人数 **80,000人**
 応募期間 **2018年9月26日～12月上旬**

詳細は、HPをご覧ください。
<https://tokyo2020.org/jp/special/volunteer/>



ヘルプデスクで来場者をサポート

ランナーの給水をサポート

都市ボランティア

東京都並びに競技会場を有する自治体が運営・募集を行う都市ボランティアは、大会期間中、空港や主要駅・観光地において、国内外からの旅行者に対する観光・交通案内や、競技会場の最寄駅周辺における観客への案内等を行います。選手や大会関係者、国内外からの旅行者、観客等を「おもてなしの心」をもって、お迎えする役割を果たすとともに、大会の盛り上げの一翼を担います。

運営・募集 **東京都**
 人数 **30,000人**
 応募期間 **2018年9月26日～12月5日**

※競技会場を有する各自治体においても募集・運営を行います。

詳細は、HPをご覧ください。
<http://www.city-volunteer.metro.tokyo.jp/>



駅の近くで観客をサポート



会場までの道順を案内

10 東京2020 参画プログラム

参画プログラムとは

8つのテーマのもとで開催される、幅広い分野の事業・イベントを通じて、東京2020大会に向けたオリンピック・パラリンピックの機運醸成と、大会後のレガシー創出に向けて取り組むプログラムです。

あなたの街や地域で開催される多様なイベントに、ぜひご参加ください！

プログラムにおける8つのテーマ
 ～8つのテーマで、みんなをつなぐ、動かす、そして未来へ～

楽しく体を動かそう スポーツ・健康	みんなに優しい都市に 街づくり	未来につなげよう 持続可能性	新しい日本を発見 文化
新たな自分を見つけよう 教育	日本の最先端の技術を発信 経済・テクノロジー	今こそ絆を深めよう 復興	みんなの想いをひとつに! オールジャパン・世界への発信

詳細は、HPをご覧ください。

<https://participation.tokyo2020.jp/jp/>



参画プログラムマーク



参画プログラムに認証された事業・イベントには、東京2020エンブレムの基礎となっている、「多様性」「つながる」「参加」を表す「3つの異なる四角形」を組み合わせたマークが付与されます。

東京2020大会と祭りであつなごう!

日本の文化である祭りを通じて、オールジャパンで一緒に盛り上がりましょう!

「東京五輪音頭-2020-」であつなごう!

特設サイトで、振付の解説動画、振付シートを公開しています。

東京五輪音頭-2020- 特設サイト
<https://tokyo2020.org/jp/special/ondo/>



「東京2020 参画プログラム(祭り)」であつなごう!

ポスターやチラシに使える、祭りマークのデータをご提供します。

東京2020 参画プログラム特設サイト
<https://participation.tokyo2020.jp/jp/>



「東京2020 公式ライセンス商品」であつなごう!

祭りの気分を盛り上げる、法被やうちわ等が揃います。

東京2020 公式オンラインショップ
<https://tokyo2020shop.jp/>



東京五輪音頭-2020-とは



東京1964大会以来、多くの方々に歌い継がれてきた「東京五輪音頭」を歌詞も振り付けも2020仕様にリメイクし、蘇らせました。



東京五輪音頭-2020-を披露する子どもたち

11 文化プログラム

東京2020 NIPPON フェスティバル

オリンピック・パラリンピックはスポーツの祭典であるとともに、文化の祭典でもあります。東京2020組織委員会は、東京2020 参画プログラムの集大成として、「東京2020 NIPPON フェスティバル」を展開します。

コンセプト

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、全国でくり広げられる文化の祭典、それが東京2020 NIPPON フェスティバルです。

日本にあらゆる国の人が集う本大会に先駆けて、様々な人と文化が交流する場となるはずです。

地方と都市。日本と世界。

あらゆる境界を超え、ひとつになるその時。

きっと、かつてない文化が生まれるでしょう。

きっと、多様性の力と素晴らしさを実感するでしょう。

きっと、新たな文化と感動が未来につながってゆくでしょう。

その主役は、私たちひとりひとり。

そして舞台は、この国のあらゆるまちとまち。

日本各地の熱気と多様性の融合から、すべては始まります。

東京2020 NIPPON フェスティバル。それは、この国の新たな可能性を開くフェスティバルです。

フェスティバルマーク

フェスティバルマークは、大会エンブレムの制作者である野老朝雄さんにより開発されました。東京2020エンブレムと同じ3種類の四角形を、同じ数組み合わせたマークが描くのは「Harmonized Checker = 調和した市松」です。多様性の調和によって可能性や希望が広がり、新しい輝きを起こしていくことがデザインに込められています。



東京2020組織委員会が主催する4つの文化プログラム

フェスティバルの盛り上がり全国に波及するよう、東京を中心に大規模な文化プログラムを計画しています。

4月頃／大会に向けた祝祭感 <small>キックオフ</small> 東西を代表する無形文化遺産・舞台芸術の融合による世界初の舞台を実現。	7月頃／参加と交流 <small>オリンピック直前</small> 日本文化を通じて、さまざまな人々が交流する場・イベントを創出。
8月頃／共生社会の実現 <small>パラリンピック直前</small> 多様な個性を持つ人々が参画し、アートやパフォーマンス活動等を展開。	5月～7月頃／東北復興 東北各地・東京を舞台とし、国内外へ東北の現在の姿を発信。



「東京2020参画プログラム 文化オリンピアドナイト」を東京駅前幸通りにて開催（2017年11月26日）

その他、全国の様々な団体と連携しながら、各地で文化プログラムを展開していきます。

— 東京都の取組 —

「Tokyo Tokyo FESTIVAL」

東京都では、前回のリオ2016大会以降、東京2020大会に向けて各文化事業を「東京文化プログラム」として展開してきました。

今後の更なる気運醸成のため、これまで「東京文化プログラム」として実施していた各事業を、新たに「Tokyo Tokyo FESTIVAL」としてプロモーションを展開し、国内外への発信力と拡散力の強化を図るとともに、ブランディングに向けて取り組んでいきます。

Tokyo Tokyo
FESTIVAL

詳細は、HPをご覧ください。
<http://tokyotokyofestival.jp/>



12 聖火リレー

オリンピック聖火リレー

オリンピック聖火リレーは、ギリシャ・オリンピアの太陽光で採火された炎を、ギリシャ国内と開催国内でリレーによって開会式までつなげるものです。

オリンピックのシンボルである聖火を掲げることにより、平和・団結・友愛といったオリンピックの理想を体現し、開催国全体にオリンピックを広め、きたるオリンピックへの関心と期待を呼び起こす役目を持っています。

東京2020聖火リレーのコンセプトは、「Hope Lights Our Way (英語) / 希望の道を、つなごう。(日本語)」です。支えあい、認め合い、高めあう心でつなぐ聖火の光が、新しい時代の日の出となり、人々に希望の道を照らし出します。



ギリシャ・オリンピアの太陽光で採火された炎を、リレーによって開会式までつなげます

オリンピック聖火があなたの近くにも。日本全国47都道府県を回ります！

聖火採火式は、古代オリンピック発祥の地オリンピア市にあるヘラ神殿跡にて、2020年3月12日に行われます。その後、ギリシャ国内において8日間聖火リレーが開催され、最終日にアテネ市にて行われる聖火引継式にて聖火が東京2020組織委員会へ引き継がれます。

引き継がれた聖火は、宮城県にある航空自衛隊松島基地に到着後、復興オリンピックの観点より、「復興の火」として、東日本大震災被災3県（宮城、岩手、福島）で順次展示された後、移動日を含む121日間という長い期間をかけて、47都道府県を回ります。

2020年3月26日に福島県を出発した聖火は、まず南に向かいます。5月上旬に沖縄県で実施した後は北上し、6月中旬に北海道まで達します。次に岩手県に入り、その後、宮城県、静岡県等競技会場のある県を回り、最後に東京都に入って、7月24日の開会式を迎えます。

パラリンピック聖火リレー

パラリンピック聖火リレーは、オリンピックからの移行期間中に勢いや興奮を維持し、人々にパラリンピックの精神及び価値を伝える役目を持っています。

パラリンピック聖火は皆のものであり、サポートメッセージ（スパーク）が集まって炎を灯すエネルギーになるという発想に基づいて、障がい者競技会発祥の地であるイギリスのストーク・マンデビルと国内数か所で聖火フェスティバルを行い、東京に集火します。



リオ2016大会では、パラリンピック殿堂入りを果たした河合純一氏が聖火ランナーを務めました

詳細は、HPをご覧ください。

<https://tokyo2020.org/jp/games/torch/>



13 東京2020大会を観る

観戦チケット

東京2020大会公式チケット販売サイトでチケットを購入する際には、まず「TOKYO 2020 ID」の登録が必要です。

オリンピックチケット販売開始は2019年春、パラリンピックチケット販売開始は2019年夏、チケットの受け取りは2020年春以降を予定しています。



TOKYO 2020 ID

チケット情報はもちろん、イベントや最新グッズ、そしてボランティア情報などもお届けしていく予定です。

TOKYO 2020 ID
<https://id.tokyo2020.jp/>



競技スケジュール

東京2020オリンピックのセッションスケジュールが公表されました。開会式2日目の7月22日、福島でのソフトボールを皮切りに、男子マラソンが実施される最終日まで、史上最多33競技339種目が行われます。東京2020パラリンピックのセッションスケジュールについては、今後公表予定であり、大会期間中、22競技540種目の熱戦が繰り広げられます。

東京2020大会の競技スケジュール
<https://tokyo2020.org/jp/games/sport/>



セッションスケジュールとは

各競技において、チケット単位のセッションの開始時間と終了時間を記載したものです。(例:陸上競技の午前の部、午後の部など。球技では、複数の試合が含まれる場合もあります。)

開会式・閉会式

現在、世界最大規模のセレモニーであるオリンピックとパラリンピックの開会式・閉会式の準備を進めています。

東京・日本を世界にアピールするために何を伝えるべきか等をまとめ、演出の方向性となる「基本コンセプト」を策定しました。



リオ2016オリンピック開会式



リオ2016パラリンピック閉会式

東京2020大会開会式・閉会式の制作体制決定!

2018年7月、いよいよオリンピック・パラリンピック開会式・閉会式の具体的な演出企画の検討に向けて、制作体制を発表しました。今後、多くの方々にご協力頂きながら、世界中の人々の印象に残る素晴らしい式典を創り上げていきます。



[中央] チーフ・エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター(東京2020総合):野村萬齋さん
[左] エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター(オリンピック担当):山崎貴さん
[右] 同(パラリンピック担当):佐々木宏さん

14 持続可能性

東京2020大会の持続可能性とは

日本は、気候変動や天然資源の枯渇、差別等の人権問題等、持続可能性に関する世界共通の課題に直面しています。東京2020大会は、「Be better, together/より良い未来へ、ともに進もう。」をコンセプトとし、持続可能な社会の実現に向け、課題解決のモデルを国内外に示していきます。

また、地球及び人間の未来を見据え、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」に貢献するとともに、将来の大会や国内外に広く継承されるよう取り組んでいきます。

Be better, together

東京2020大会の持続可能性コンセプト

より良い未来へ、ともに進もう。



2015年9月に国連で採択された、17の持続可能な開発目標

都市鉱山からつくる! みんなのメダルプロジェクト

みなさまがお持ちの使用済み携帯電話・パソコン・デジタルカメラ等の小型家電から抽出したリサイクル金属で、オリンピック・パラリンピックの金・銀・銅あわせて約5,000個のメダルを製作するプロジェクトを実施しています。環境に配慮し、資源を有効活用する取組です。

全国のドコモショップやプロジェクト参加自治体等で、回収を行っています。日本のテクノロジー技術を駆使することで、金の精錬におけるリサイクル率100%を目指します。

詳細は、HPをご覧ください。
<https://tokyo2020.org/jp/games/medals/project/>



日本・英国の競泳選手から、不要になった携帯電話を提供いただきました(「競泳ジャパンオープン2017」にて)

日本の木材活用リレー ~みんなで作る選手村ビレッジプラザ~

オールジャパンで大会を盛り上げるとともに、環境に配慮した持続可能な大会を実現するために、全国の木材を無償で借り受けて選手村ビレッジプラザを建築し、大会後に解体された木材をレガシーとして各地の公共施設等で活用するプロジェクトです。多様性と調和を表現するとともに、環境負荷を低減します。

公募の結果、北海道から九州地方まで63自治体を事業協力者として決定しました。

詳細は、HPをご覧ください。
<https://tokyo2020.org/jp/games/sustainability/village/>



2017年9月30日時点のイメージ図であり、今後変更の可能性がります

15 未来への継承

東京2020教育プログラム「ようい、ドン！」

次世代を担う子どもたちにオリンピック・パラリンピックやスポーツの力をより深く学んでもらうため、日本全国の学校に向けて教育プログラムを実施しています。

オリンピック・パラリンピック教育実施校の認証(2018年9月1日現在、47都道府県の16,232校を認証)、関連教材の配布、アスリート・東京2020マスコット等との交流の機会や競技体験イベントの提供等を通して、子どもたちにかげがえのない経験を届けます。

オリンピック・パラリンピック関連教材とは

オリンピックの価値(「努力から得られる喜び」「フェア・プレイ」「他者への敬意」「卓越性の追求」「肉体、意思、精神のバランス」)や、パラリンピックの価値(「勇気」「強い意志」「インスピレーション」「公平」)を学べる教材を、ウェブサイトで配布しています。



マスコット投票に向けた事前授業
福島県福島市立吉井田小学校



「東京五輪音頭-2020-」の授業成果発表イベント
東京都立南多摩中等教育学校

詳細は、HPをご覧ください。

東京2020教育プログラム特設サイト「TOKYO 2020 for KIDS」
<https://education.tokyo2020.org/jp/>



詳細は、HPをご覧ください。

東京都オリンピック・パラリンピック教育
<https://www.o.p.edu.metro.tokyo.jp/about-education>



小・中学生からのポスター募集

東京2020大会に対する小・中学生の興味関心の向上のため、オリンピック・パラリンピック等をテーマとしたポスターの募集を2015年度から開始しました。本事業は、2020年に東京や日本、そして自分がどのようにしているかを考えるきっかけとなっています。

今年度も、ポスター募集企画を開催予定です。

詳細は、HPをご覧ください。

<https://tokyo2020.org/jp/get-involved/event/poster2018/>



小・中学生ポスター募集事業の公開授業を実施
東京都府中市立若松小学校

大学連携 —学生ので盛り上げよう—

東京2020大会を通して、オリンピック・パラリンピック教育を推進すること、多くの学生が一生に一度の経験を得ること、そして知識や経験のレガシーが残っていくこと等を目的として、全国約800校の大学・短期大学と連携協定を締結しました。「出張講座プログラム」の実施等、各大学の特色を生かした取組や様々な活動を進めていきます。

詳細は、HPをご覧ください。

<https://tokyo2020.org/jp/get-involved/university/>



大学連携18イベント「Tokyo 2020学園祭」
青山学院記念館

16 レガシー・2020TDM 推進プロジェクト・経済波及効果

ソフト・ハード両面のレガシーの創出

東京1964大会では、東海道新幹線や首都高速道路等のハード面のレガシーだけでなく、ピクトグラムの誕生、冷凍食品の技術開発の進展等のソフト面のレガシーが生まれ、成熟社会の礎となりました。

東京2020大会では、成熟社会として新たな進化を遂げるため、誰もが優しさを感じられるバリアフリーのまちづくりやスポーツを通じた健康づくり、世界をリードする環境先進都市の実現、芸術文化の世界への発信など、ハード・ソフト両面のレガシー創出に向けた取組に力を入れ、価値あるレガシーを残していきます。

レガシーとは

大会の開催により開催都市や開催国が、長年にわたり継承・享受できる、大会の社会的・経済的・文化的な恩恵を指します。

2020年に向けた東京都の取組—大会後のレガシーを見据えて—

<https://www.2020games.metro.tokyo.jp/taikaiyunbi/torikumi/legacy/index.html>



2020TDM 推進プロジェクト

—みんなで道路、鉄道の混雑をなくそう—

東京2020大会成功に向けては、円滑な大会輸送の実現と、経済活動の維持との両立を図ることが重要です。この実現に向けて交通需要マネジメント(TDM)を進めるため、東京都、国、東京2020組織委員会は「2020TDM推進プロジェクト」を発足しました。

企業や個人のみならずのご協力のもと、TDMを推進していくことで、大会を成功に導くだけでなく、新しい交通のあり方をレガシーとして残していきます。



プロジェクト発足式

詳細は、HPをご覧ください。

<https://2020tdm.tokyo>



東京2020大会がもたらす経済波及効果

東京都は、東京2020大会開催に伴う経済波及効果の試算を発表しました(2017年3月)。

2013年(招致決定年)から2030年(大会10年後)までの対象期間において、経済波及効果(生産誘発額)は、東京都で約20兆円、全国で約32兆円。雇用誘発数は、東京都で約130万人、全国で約194万人となっています。

経済波及効果

雇用誘発数



大会開催に伴う経済波及効果

<https://www.2020games.metro.tokyo.jp/taikaiyunbi/torikumi/keizaihakyuukouka/index.html>



コラム

オリンピック・パラリンピックのことをもっと深く知ろう

オリンピックの意義 ～参加することに意義がある～



クーベルタン男爵
©フォート・キシモト

近代オリンピックの父と呼ばれている、クーベルタンの格言として有名な「オリンピックで重要なことは勝つことではなく参加することである」という言葉は、彼の格言ではありません。

ロンドン1908大会当時行われていた綱引き競技をはじめ、多くの種目で英米両チームが対立していました。そのためセントポール大聖堂において、礼拝に参加した選手達を前に、ペンシルバニアのエチューバード・エルボット主教が、「オリンピックの理想は人間をつくることであり、オリンピックに参加することは人と付き合うこと、すなわち世界平和の意味を含んでいる」と戒めの言葉を述べました。

同様に考えていたクーベルタンは主教の言葉に感動して、英政府主催の晩餐会で主教の言葉を引用し、「人生にとって大切なことは成功することではなく努力することである」と付け加えました。

以後、この言葉はオリンピックの理想を表現するクーベルタンの格言として知られるようになりました。

聖火リレーのはじまり



採火式

近代オリンピックでは、パリ1924大会まで聖火はありませんでした。

アムステルダム1928大会の際、スタジアムの外に塔を設置し、そこに火を灯し続けるという案が採用されたことが契機となり、現在のような聖火が誕生しました。

聖火は、大会の数か月前に古代オリンピックの聖地であるオリンピアの遺跡ヘラ神殿前で採火され、多くの人によって開催地まで運ばれ、開会式当日、最終ランナーによってメインスタジアムの聖火台に点火され、大会が終わるまで灯し続けられます。



東京1964大会の最終聖火ランナー
©フォート・キシモト

東京1964大会では、様々な議論の末、最終ランナーを若い選手に任せることになりました。

選ばれたのは、1945年8月6日、広島に原爆が投下された日に広島郊外で生まれた19歳の坂井義則氏でした。当時、早稲田大学の競走部に所属していた坂井氏は、目指していたオリンピック選手にはなれなかったものの、開会式での大役を果たしました。

オリンピックのシンボル



オリンピックの五輪マークは五つの輪が重なっています。これは世界五大陸（南北アメリカ・ヨーロッパ・アフリカ・アジア・オセアニア）を表しています。

全世界の人たちが平和の精神のもと、スポーツで手をつなぎ合おうという意味があります。

また青、黄、黒、緑、赤の色は地色の白を加えると、世界の国旗のほとんどを描くことができるという理由で選んだと、考案者であるクーベルタン男爵は書き残しています。

※「オリンピック・パラリンピック学習読本」 中学校編及び高等学校編（東京都教育委員会発行）から一部引用

パラリンピックの意義と価値



パラリンピックは、様々な障がいのあるアスリートが公平に能力を発揮し活躍できる世界最高峰の競技大会です。できないことに着目するのではなく、「どうしたらできるか」の視点で創意工夫し、想像を超える競技パフォーマンスを発揮するパラリンピアンのは、人々の心を揺さぶり、障がいに対する認識を変え、共生社会の実現へと誘います。

国際パラリンピック委員会（IPC）は、パラリンピアンに秘められた力こそが、パラリンピックの象徴であるとし、「勇気」「強い意志」「インスピレーション」「公平」という四つの価値を重視しています。

パラリンピックと日本



ルードウィッヒ・グットマン卿
©フォート・キシモト

ストーク・マンデビル病院（イギリス）の医師であったルードウィッヒ・グットマンは、第二次世界大戦で脊髄に損傷を受けた兵士を治療する際にスポーツを取り入れる方法を用いました。

ロンドン1948大会の開会式の日、グットマンは病院内で16人の車いす使用者によるアーチェリーの競技大会を開催しました。この競技会が、後のパラリンピックへと育っていき、1960年にはオリンピックの開催されたローマで国際ストーク・マンデビル大会が開催されました（23か国・400名が参加）。この大会は、1989年のIPC設立後に第1回パラリンピックと位置づけられています。

そして1964年の国際身体障害者スポーツ大会は、東京オリンピック直後に2部制で開催されました。第1部は、ローマ1960大会に続く国際ストーク・マンデビル大会であり、後に第2回パラリンピックと位置づけられました（21か国・378名が参加）。そして第2部は、すべての身体障がい者と西ドイツの招待選手による国内大会として開催されました（481名が参加）。

「パラリンピック」という名称は、東京1964大会で愛称として使われました。当初は車いす使用者を対象とした大会だったので、下半身まひを表すパラプレジア（Paraplegia）の「パラ」という意味が込められていました。

その後、トロント1976大会以降、車いす使用者以外の障がい者も参加するようになったことから、現在では「沿う」、「並行」という意味のパラレル（parallel）の「パラ」と解釈されるようになりました。

パラリンピックのシンボル



パラリンピックのシンボルは1989年のIPC設立後に制作され、リレハンメル1994大会から使用されました。

そして、アテネ2004大会から現在のシンボルに変更されました。このシンボルマークは「スリーアギトス」と呼ばれています。「アギト」とは、ラテン語で「私は動く」という意味で、困難があってもあきらめずに、限界に挑戦し続けるパラリンピアンを表現しています。青・赤・緑の三色は、世界の国旗で最も多く使用されている色ということで選ばれました。

東京2020大会マーケティングパートナー

2018年9月21日現在

東京2020大会は、IOCならびに東京2020のスポンサーシッププログラムに基づき、大会運営等に不可欠な専門的ノウハウ、商品・サービス及び資金を提供頂いております。

ワールドワイドオリンピックパートナー



東京2020オリンピックゴールドパートナー



東京2020オリンピックオフィシャルパートナー



東京2020オリンピックオフィシャルサポーター

コクヨ 乃村工藝社 パーク24 パナソニックグループ 丸大食品 産業経済新聞社 北海道新聞社

ワールドワイドパラリンピックパートナー



東京2020パラリンピックゴールドパートナー



東京2020パラリンピックオフィシャルパートナー



東京2020パラリンピックオフィシャルサポーター

コクヨ 乃村工藝社 パーク24 パナソニックグループ 丸大食品 産業経済新聞社 北海道新聞社

東京2020 公式ライセンス商品



東京2020 オフィシャルオンラインショップ

東京2020公式ライセンス商品等を多数取り扱っています。

お問い合わせ先
商品カスタマーセンター(TEL03-3520-9200)
受付時間 10:00~18:00(土日祝日、年末年始を除く)

東京2020 オフィシャルオンラインショップ
<https://tokyo2020shop.jp/>



東京2020 オフィシャルショップ

新宿西口店
新宿区西新宿1-5-1 ビックカメラ新宿西口店2F
OPEN:10:00~21:00

池袋東口店
豊島区東池袋1-41-5 ビックカメラ池袋本店 地下1F
OPEN:10:00~22:00

赤坂見附店
港区赤坂3-1-6 ビックカメラ赤坂見附駅1F
OPEN:10:00~22:00

詳細は、HPをご覧ください。
https://tokyo2020shop.jp/user_data/official_shop.php



編集・発行

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
東京都オリンピック・パラリンピック準備局

印刷物規格表第1類印刷番号(30)33/18TMG0143003(2018年10月発行)